

25 地域に根ざした職場体験実習

理療教育・就労支援部 就労移行支援課 近藤和弘

1. はじめに

就労移行支援では、就労に必要な各種技能の習得はもちろんのこと、職業習慣の確立、職場マナーの習得、同僚や顧客との接し方などの対人技能や、自身の働く目的をつかむといったことも重要と考えて支援している。その支援方法として実際の職場を体験する職場体験実習を行っている。この度、2年間の準備期間を経て、今年度からセンター近隣にある農家の直営販売店の協力により複数の利用者に定期的に職場体験実習の機会を設け実施したので報告する。

2. 実習方法

- (1)実習先：株式会社ぶんぶん（近隣農家の地場産品直営販売店）当センター北門から約1 km。
- (2)実習準備期間：障害者の実習受け入れは初めてであるため、利用者の障害状況や実習の必要性や目的を説明し、職員が業務内容を体験し整理したうえで、実習先に受け入れ方法のアドバイスをを行い期間や内容の検討を行った。
- (3)実習先の特徴：障害の重い方でも実習が可能であること。近隣で、実習中の利用者対応が行いやすいこと。実習内容調整、情報交換、相談にすぐに対応できること。センター内ではできない通勤、実際の仕事、お客様対応を体験できること。センター地元であり事業所にとっても地域の方たちの理解が得られやすいこと。
- (4)実施方法：
 - ①期間：平成 22 年度 隔月。
 - ②頻度：1回4日間（原則：木・金曜日。翌週の木・金曜日）。9:00～16:00。
 - ③人数：就労移行支援利用者。1回の実施は2～4名。
 - ④対象者の選定：個別支援計画にのっとり訓練の進捗状況や個人の課題を勘案し生活支援専門職及び職業指導専門職が候補者を選定する。対象者の目的や障害状況、通勤状況に応じて職業指導専門職が支援する。
- (5)実習内容：店舗内外の清掃、商品の調製・計量・袋入れ、商品の陳列、会計（レジ）、店頭販売など。来客対応あり。実施時期の販売産品や対象者の障害にあわせ実習先と相談を行う。
- (6)評価：対象者は、所定の評価項目にそって自己評価票を作成する。実習先は、対象者と同評価項目にて評価票を作成する。両評価票を基に対象者へフィードバックする。

3. 結果

①平成 22 年 2 月に試行的に 2 日間（2 名）実施した。対象者からは、「やって良かった。他の人もやったほうが良い」という感想であった。それを踏まえ、平成 22 年 5 月—2 名、7 月—3 名、9 月—2 名、11 月—2 名実施した。今後も継続する。②当初、対象者として就職活動を控えている者（訓練終期）を想定して開始した。現在では、一般的な職場実習では実施が困難と思われる者（訓練初期・中期の者にも）に早期に実習の機会が提供できる体制を整えつつある。

4. まとめ

職場体験実習には次のような利点があると考えられる。①内容が豊富なために、障害のバリエーションやレベルに柔軟に対応していただけること。②対象者には実社会での体験に出会い自分の課題を確認し達成感と自信が感じられること。③通勤体験が出来ること。また、センターから近いことで対象者や実習先にも細やかな支援が可能であること。④センターの生活とは違った環境で 1 日過ごすことで体力や集中力などの耐久力を確認出来ること。⑤地域住民への障害者に対する理解の啓発ということ。最後に、この実習を契機に少しでも近隣の方たちの当センターと障害者の就労への理解が進み、他の事業所にも広がっていくことを期待している。

職場体験実習風景

①通勤風景



通勤出来ることも大切なことです。センターからお店までは約1 kmあります。

舗装道路でも、車椅子で通勤するには路面状況により苦勞が伴います、ましてや雨が降るときは大変です。写真は、傘をさして左手と左足で車椅子を操作している様子です。

③商品の準備（水洗い）



取れたて泥付のホウレンソウを水洗いします。不要部分を取り除き、形を整えます。

ホウレンソウを洗っているのを見たお客さんから「おいしそうだから買っていくわ」「ありがとうございます」と、会話もはずみます。

⑤商品の準備（結束・値札付け）



枝豆を定量で束ねています。束ねた枝豆に札を付けています。

②店舗内外の掃除



まず、掃除をします。窓ふき、箒でゴミ集め、モップかけなど自分の出来る範囲で、精一杯お客様を迎える準備をします。

④商品の準備（計量）



ごぼうを計量してビニール袋に入れ閉じます。写真は、左腕だけで作業が出来るように、雨どいの先を丸く加工した物をビニール袋に入れ、ごぼうを滑らせて入れています。

⑥商品の準備（皮むき）



とうもろこしの育ち具合等をチェックして、皮をきれいにむいています。

⑦店頭販売



店頭でとうもろこしを蒸して販売しています。通りすがりのお客様が、買って行かれます。

⑧商品の陳列



少しでも、見栄えが良くおいしく新鮮さがお客様に伝わるよう商品を陳列します。

⑨会計（計算・袋入れ）



慣れないうちは、「いらっしゃいませ。合計で350円になります。1000円をお預かりいたします。650円のお返しとなります。ありがとうございました。」のやり取りもぎこちなく、この時間がなんと長く感じられることでしょう。「そんなに高いの。間違っていない？」などと言われたら、緊張してしまいます。

⑩会計（おつり）



実習が進むにつれ、「重いのでお気をつけてお持ちください。」などという言葉も自然と出てくるようになり、「ありがとう。あなた達も頑張ってるね。」というお客様の一言で、今までの緊張と失敗は報われます。